

- 1 主題名 どちらが正しいのかな 内容項目「A 善悪の判断・自律・自由と責任」
 2 ねらい 自分がそうだったらどうするかを考え話し合うことを通して、正しいと判断したことは勇気をもって行うことの大切さを理解し、他者に対しても正しい行動をとらせようとする態度を養う。

教材名 「クラスたいこう全員リレー」(出典：学研「みんなの道徳4年」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題の内容項目は、正しいと判断したことは、自信をもって行うことをねらいとしている。この時期の児童は、様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことについての判断力は高まっている。しかし、正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周囲に流されたり、自分の弱さに負けたりしてしまうこともある。そこで、よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じるところに従って誠実かつ謙虚に行動する態度を育てることが重要である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、明るく素直である。レク係を中心に休み時間には鬼ごっこなどをして仲良く生活している。これまで、体調不良でみんなと同じ遊びができなかった友達がいた時は、別の遊びに変えるなど友達を気遣う姿が見られた。一方、「お楽しみ会」の話合いでは、みんなが楽しめる内容を考え発言できる児童もいるが、自己中心的な考えで判断している児童も多く見られた。また、普段から強い立場の相手だと、正しくないと思っていなくても、多数意見に流される様子も見られる。そこで、本教材を通し、「自分がその場にいたらどうするか」との投げかけにより、自分事として考え多様な意見に触れさせながら、自分で判断することや正しいと判断したことは自信をもって行動に移すことの大切さに気づき、今後の生活に生かそうとする意欲をもたせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

リレー大会の前日、走ることが苦手なたけしをチームから外すという意見が出され、そうたは、それが正しくないと分かっているながらも、何も言えなくなってしまう。

主に次の場面を中心に話し合うことにする。

① そうたが、何も言えなかった場面

言うべきだと分かっているけれど言えないそうたの葛藤を捉えさせる。

② 「もし、自分がこの場にいたらどうするか。」と問うことで、自分事として捉え、多面的・多角的に考えられるようにする。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動 ・ 主な発問	予想される児童の発言	・ 指導上の留意点 ☆ 評価の視点
導入	1 自分の経験を発表する。 ・ 持久走やサッカー・野球などの大会前は、どんな気持ちですか。	・ 勝ちたい ・ 一位になりたい。 ・ 成果を発揮したい。	・ 大会では、勝ちたいという心理が優先しがちなことを押さえ、ゆうじたちの気持ちにも寄り添えるようにする。

<p>展 開</p>	<p>〈そうたの意見〉 ・一緒に走りたい。</p> <p>(3) もし、自分がこの場にいたらどうしますか。ワークシートに理由を書きましょう。</p> <p>〈言う〉の児童に対して ・勝てなくてもいいの。 ・メンバーみんなが、ゆうじの意見に賛成しているけど…。 ・みんなに責められるかも。</p> <p>〈言わない〉の児童に対して ・たけしの気持ちはどうなるのかな。 ・全員リレーになるのかな。 ・正しいことは何かな。</p>	<p>〈そうたの意見〉 ・一緒に練習してきたのだから、賛成だ。</p> <p>〈言う〉 ・正しいことだから。 ・言わないとモヤモヤする。 ・練習をした仲間だ。 ・たけしがかわいそう。 ・結果より努力が大事。 ・たけしが走って全員リレーだ。</p> <p>〈言わない〉 ・勝ちたい。 ・自分のせいにされたくない。 ・みんなに責められる。 ・みんなの意見に従おう。 ・負けたら、たけしのせいになってしまう</p>	<p>・多様な価値観に触れ、ねらいとする道徳的価値に迫れるようにする</p> <p>・「言う」が多いと予想されるので、切り返しの発問で多面的多角的に考えられるようにする。</p> <p>・全員に、判断と理由を明らかにさせる。 ☆自分の判断とその理由をワークシートに記入している。</p>
<p>終 末</p>	<p>6 学習のまとめをする。 ・今日の学習で、どんなことが大事だと思いましたか。自分の考えをワークシートに書きましょう。</p>	<p>・正しいと思ったら、勇気を出して言う。 ・自分の考えを伝える ・善いことか悪いことかをよく考える。 ・相手の気持ちを考える。 ・仲間外れはしない。</p>	<p>・ワークシートに自分の考えを書かせた後、全体で意見交流をする。 ☆正しいと判断したことは勇気をもって行うことの大切さについて、自分との関わりで考えている。 (ワークシート・発表)</p>

5 他の教育活動との関連

- ・体育科の「プレルボール」や「ラインサッカー」のゲームを通して、人の意見に左右されることなく何が正しいのかを自分で判断し、正しいと思ったら自信をもって行動に移せるようにさせたい。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・登場人物（そうたやたけし）の言動を、様々な視点から捉え考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・正しいと判断したことは勇気をもって行うことの大切さについて、自分との関わりで考えている。

〇〇大会の気持ち

勝ちたい。がんばろう

クマスだこの全員りー

無理しないほうがいい

ゆいさんが2回走るよ



だいじょうぶ、
ぼく、あしたは
走れるよ。

たけしを
手ごわ外行

走りたい。
練習してきま

正しくない
かかっている

一生懸命
練習していた
出たんだろう...



たけしが
いなければ
勝てる...

そうたは、なぜ何も言えなかったのでしょう。

あなたがこの場にいららどうしますか

- 。反対される
- 。せめられる
- 。たけしがかわいそう

たけし

心の中は？



言う

- 。仲間だ
- 。勝つのもつれしなく
- 。全員りーした
- 。後がする
- 。このままだと
- 。王ヤ王ヤする

言わない

- 。勝ちたい
- 。自分のせいにはれる
- 。たけしがまずつく
- 。みんなにしがあ
- 。みんなががかりする

大事なこと

- 。正しいと思えたらしかり言う
- 。仲間外れにしない。勇気をもつ

クニス対抗全員りー 月 日

名前

もし、あなたがこの場にいたら、どうしますか。

- ・ 言う
- ・ 言わない



今日の学習を通して、どんなことが大事だと思いましたか。

今日の学習を振り返りましょう。(よくできた◎ たまたま○ がんばった△)

- ①自分の考えを伝えることができましたか。()
- ②先生の話や友達のことを聞くことができましたか。()
- ③先生や友達の話聞いて、自分の考えとくらべながら考えることができましたか。()